

いそはま日記 2024(13)

アマモ場をとりもどそう！

アマモは、^{うみくさ}海草として知られていますが（写真1）、アマモがたくさんはえた場所をアマモ場と呼びます。アマモ場があると、海の生き物や水環境にとって良い効果が期待できます。例えば、アマモ場で様々な生き物が生活し、それを食べる生き物が集まって来ること、水をきれいにすることなど、私たちの食生活を豊かにすることにもつながります。

そんなアマモ場が、せんなん里海公園とその周辺の浅い海に点在しているのですが、去年の台風の影響で大きなダメージを受けてしまいました。そこで、アマモ場を復活させるために阪南市や企業、NPO、大学などさまざまな立場の人が協力してアマモの種まきや苗を植え付けるイベントが実施されました。場所は公園のすぐ横の箱作自然海岸（通称）です。アマモの苗には、重石がわりに紙粘土を巻き付けます（写真2）。種はじかに海底にまくのではなく、ゾステラマットと呼ばれるヤシ繊維マット（写真3）を使います。写真4のように泥とアマモの種を混ぜたものをマットの目の細かい方にぬり、その上に目の粗いマットのせてはさむと出来上がり。苗やマットはダイバーさんに手渡され、海底へと沈められました。来年の春には立派なアマモ場が海底に広がっている様子が見れたらいいですね。

アマモ



写真1



写真2



写真3



写真4



アマモの種



せんなん里海公園
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所